



暖冬といわれる中、2月6～7日に降雪。東京都心でも大雪警報が発令され、首都高速は50時間以上の長い間通行止めとなりました。南岸低気圧と寒気のいたずらで暖冬でも雪が降ることはよくあること。

熊谷市11cm(雨量26mm)の積雪、鳩山町で30mmの降水(A MeDASデータ)でした。農園では10cm以上積もりました。

重い雪でブルーベリーの防鳥網が沈み、支柱が破損しました。このため、ブルーベリーも数本、折れました。幸い大きな被害ではありませんでした。

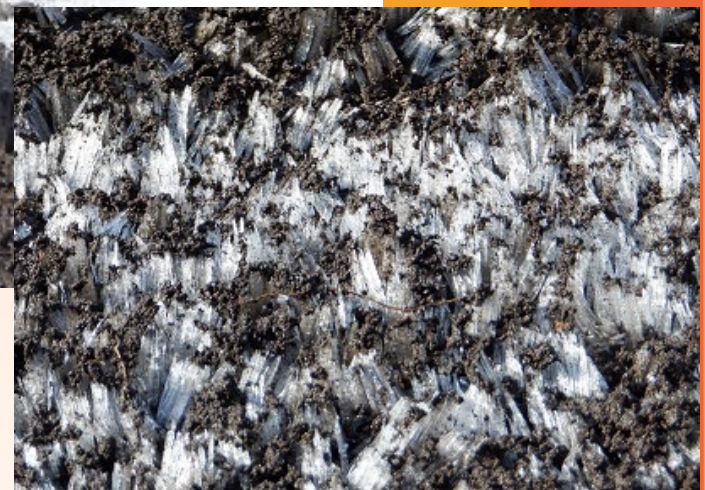
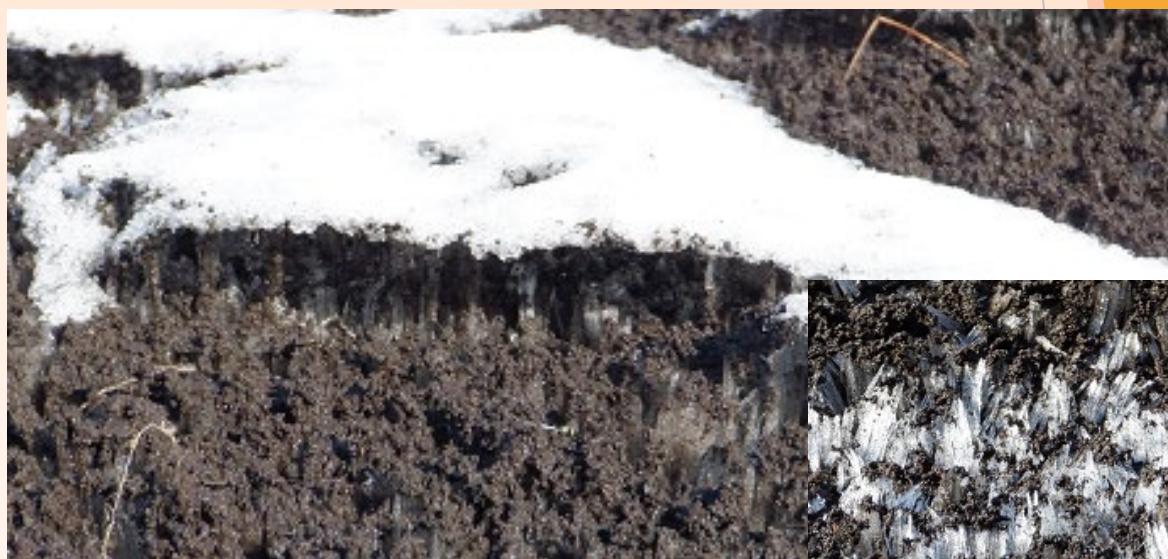


雪で、乾燥が進んでいた畑はたっぷり潤いました。

そのため、冷え込みによって畑では霜柱が見られました。

この冬、降雨が少なく、乾燥が進んでいたためか、霜柱も発生は稀でした。晴天が多いのは良いのですが少しはお湿りが欲しいものです

霜柱、関東では珍しいものではありません。子供のころは踏みつけて、「ザク」というのを楽しんだものです。しかし、西日本では見られないとのこと。火山灰土でなければ発生は稀だそうです。農園の土も火山灰土、関東ローム層です。



2月1日に「豆を味わう会」を催しました。農園では大豆、小豆、ササゲなどの豆類を栽培しています。きな粉、お汁粉、赤飯と農園にある餅つき機を活用して、学生に味わってもらいました。大学は後期試験が終わった後ですが、学生が集まってくれました。

この催しは昨年に続き2回目。連続の参加者もちらほら。中には「今年はやらないのですか」と連絡をくれた学生もいました。

豆を簡単な調理で味わってたのですが、つきたての餅目当てもいたようです。



サツマイモや枝豆が野鼠被害を受けたのは既報のとおりです。冬になり、畑に食べるものがなくなり、収穫調整のおこぼれを目当てに、ネズミが日中でも教室の周りをうろついています。農作物の被害回避のために対策を取らなければなりません。

